

検証と報告書の保証

カーボンフットプリント の算出

よくある質問

LRQA



はじめに

リスク管理の新時代において、組織が自らの二酸化炭素排出量を把握し、測定し、削減する必要性はますます高まっており、組織は環境への影響を緩和するための先を見越した対策を講じるよう求められています。このような差し迫った行動の呼びかけがある中で、カーボンフットプリントの算出や削減戦略の複雑な仕組みを理解することは容易ではありません。次の「よくある質問」は、カーボンフットプリントを管理する際に重要な概念や基準、課題、戦略について明確さを求めている組織にとってスタート地点となることを目指しています。



Q

組織が自社のカーボンフットプリントを算出することはなぜ必須なのでしょうか？

A

カーボンフットプリントを理解して測定することは、組織がその環境影響を評価する上で欠かせません。これは排出源を特定し、削減目標を設定し、持続可能な慣行のための世界的な取り組みと合致させるのに有用です。

Q

カーボンフットプリントの算出における重要なステップには何があるのでしょうか？

A

このプロセスには排出源のマッピングや排出量の測定、削減目標の設定、戦略の実施、そして継続的モニタリングがあります。包括的な評価を行うには、スコープ 1、2、3 の排出量を考慮することが不可欠です。

Q

組織は自社のカーボンフットプリントの算出をどのように始めたらよいですか？

A

ISO 14064-1 のような規格は、温室効果ガス排出量の定量化と報告の枠組みとなります。さらに科学的根拠に基づく目標 (Science-Based Targets: SBTi) や ISO 14068 も排出量削減の取り組みを気候科学と整合させる枠組みになります。

Q

科学的根拠に基づく目標 (SBTi) は、温室効果ガスの削減戦略にどのように貢献しているのでしょうか？

A

SBTi は、組織が世界の削減目標に沿って排出量削減目標を設定するための科学的根拠に基づく 枠組みになります。これは削減目標が野心的で効果的であり、気候変動の緩和に大きく貢献することを保証します。

Q

温室効果ガスの削減に関して、航空産業の組織はどのような課題に直面していますか？

A

航空産業における課題には、航空機、地上業務、インフラなど、多様な排出源が含まれます。戦略には、省エネ化、再生可能エネルギーの採用、サプライチェーンのニアショアリング（近場への移転）などが含まれます。

Q

スコープ 3 の排出量を下げるため、組織は自社のサプライヤーにどのように影響を及ぼすことができますか？

A

サプライヤーと長期的な協力関係を築き、製品やサービスの排出係数に焦点を当て、排出削減への取り組みを促進することで、サプライヤーに良い影響を与えることができます。

Q

排出量削減の行程を開始する小規模組織にとって、どのような基準が推奨されますか？

A

小規模組織にはカーボンフットプリントの算出の基本を網羅している ISO 14064-1 から始めることを推奨します。この基準は、より高度な枠組みへと進む前の基礎的ステップとなることができます。

Q

従業員の通勤はカーボンフットプリントの算出において考慮しますか？その理由は何でしょうか？

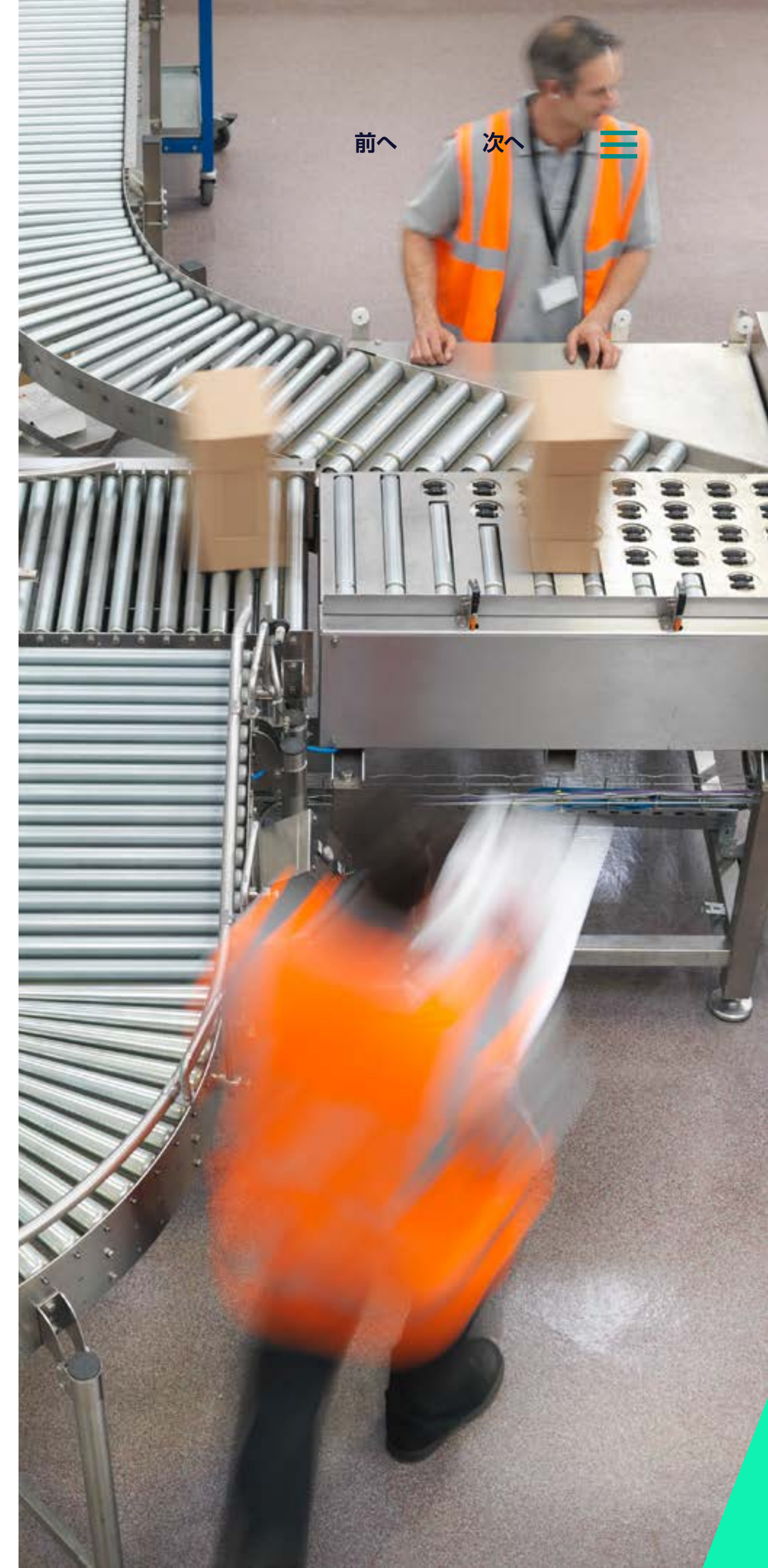
A

考慮します。従業員の通勤はスコープ 3 の排出量に分類されます。組織は完全にコントロールすることはできないでしょうが、方針やインセンティブ、持続可能な通勤方法を促すことにより、これらの排出量について感化し、軽減させることができます。



「よくある質問」は開催された LRQA のウェビナー（英語）からの洞察をもとに、カーボンフットプリントを算出し削減することの意味合いを理解しようとする組織にとってスタート地点となります。

[詳しく見る →](#)





YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

LRQAについて

LRQA は、審査、アドバイザリー、検査、サイバーセキュリティサービスにおける数十年にわたる比類のない専門知識を結集した、世界有数の保証パートナーです。データ主導の洞察力を基盤として、お客様の最大のビジネス課題の解決を支援しています。

150 カ国以上で 5,000 人以上のスタッフが活動する LRQA は、受賞歴のあるコンプライアンス、サプライチェーン、サイバーセキュリティ、ESG の専門家が、ほぼすべての業種にわたる 60,000 人以上のクライアントが事業を展開するあらゆる場所で、リスクの予測、軽減、管理を支援しています。

LRQA は、あらゆる業務において、従業員、お客様、地域社会、そして地球環境のより良い未来の実現に尽力しています。

お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/> をご覧ください。



LRQA リミテッド
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい 2-3-1
クイーンズタワー A10 階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。

LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細については www.lrqa.com/entities をご参照ください。© LRQA Group Limited 2024